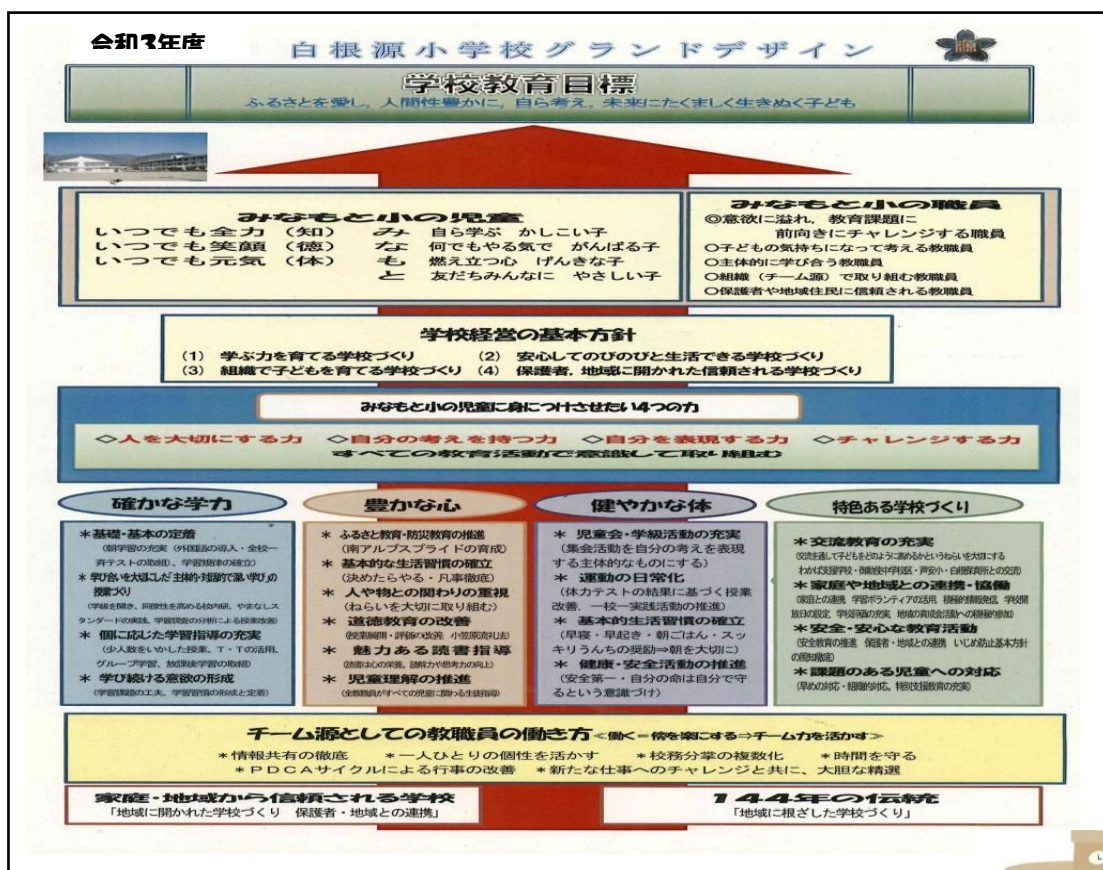


令和3年度 南アルプス市立白根源小学校 学校評価(後期) 自己評価書



○後期学校評価の経過

2回目

11月17日	学校評価実施についての提案 (職員会議)
	自己評価の準備、児童アンケート各クラス配布 (11月中)
11月19日	保護者アンケートの配布 (回収期間 11/22~11/26→教頭提出)
12月3日	自己評価 及び 児童アンケート 打ち込み完了
	学校関係者評価委員会説明資料 完成→校長提出 (確認・修正)
1月12日	学校関係者評価委員会説明資料 職員説明 (職員会議)
1月18日	学校関係者評価委員会 実施 (12:20)
1月21日	学校関係者評価書 職員報告 (終礼)
1月28日	評価書 学校関係者評価委員に配布 市教委に提出
2月下旬	南アルプス市立白根源小学校令和4年度グランドデザイン完成



全体を通して

すべての項目で、肯定の評価が多かった。一学期に引き続き、学校長の考える学校経営グラウンドデザインのもと、全教職員が一丸となって学校活動に取り組んでいると言える。ただ、A評価よりB評価が増えている項目については、考察し、より良い改善に向けていきたい。

学校教育目標、経営方針・学校運営（１～７）

○すべての項目において、肯定的な評価であった。

- ・「PDCA サイクルに基づいた改善の意欲」「校務分掌に基づいた学校運営の参画」については、職員個々の意欲が高く、それぞれの役割の中で機能的に動いていると感じる。また、「職員の相互理解・信頼関係」「チーム源の下での指導」についても評価が高く、職員が相互に連携を取りながら一丸となって児童の教育に向かっていているといえる。
- ・「危機管理意識の保持」については、職員自身の綱紀保持だけでなく、自然災害・事故などの緊急事態、いじめ等の他、コロナ感染症対策に向けても徹底していく必要がある。折に触れて職員間で話題にし、互いに意識化を図っていくことが必要である。
- ・「専門性の向上」については、A評価からB評価への若干の傾きが見られる。日々の仕事や課題に追われ、自分の専門性を高めたり、クラスの取り組みを工夫したりする時間的余裕が持ていない現状も理由として考えられる。働き方改革を進める中で、職員に時間的な余裕が生まれるようにすることも必要である。

学級経営、学習指導（８～１１）

○いずれも肯定的な評価が多いが、１学期に比べて若干下がっている。

- ・児童理解については、情報交換やケース会議などを通して個々の児童を共通理解し、学校全体で支援していこうとする風土がある。それらがより良い学級経営につながっていると考ええる。ただ、児童の課題は依然として多く、なかなか解決しない事案も多い。職員相互の連携とリレーションを大切にしていきたい。
- ・学習指導に関しては、本校では、算数において市単講師による学習支援体制を仕組むことで個々の支援を厚くしたり、放課後学習を実施し、学習面で遅れのある児童の支援に取り組んだりしている。肯定的な評価が多いが、「きめ細かな指導」についてはB評価が増えている。コロナ感染症対策などが続く中で、２学期から運動会や学習発表会などの学校行事を粛々と進めてきた。悩みながらの取り組みであり、学習指導以外に並行して取り組まなければならない場面が多々あった。そのような現実も一因と考える。行事への取り組み方を再考し、担任が学習指導に向き合える精神的・時間的な余裕を生み出すことが必要だと感じる。
- ・家庭学習については、家庭との連携が不可欠である。家庭学習週間を設けるなどして、家庭への協力を呼び掛けてきた。ただ、家庭によっては児童に十分目を向けられない現状もあるので、今後も粘り強く働きかけていく必要がある。

児童理解、生徒指導（１２～１４）

○いずれも肯定的な評価が多い。

- ・「児童の規範意識への指導」については、「あいさつ」「くつの整頓」「うがい・手洗いの遂行」など、全職員で確認しながら指導に当たってきた。多くの児童が落ち着いた生活を送っていると感じる。また、「いじめ・不登校・問題行動への対処」についても、担任・教務・養護教諭・特別支援コーディネーターなどが連携し、外部機関も積極的に活用する中で、意欲的に取り組んできた。今後も、担当を中心に組織的なチームとしての動きを進めていくことが大切だと感じる。

保護者・地域連携（１５）

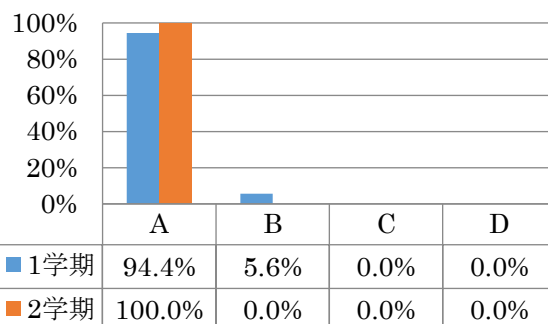
○肯定的な評価が多い。

- ・担任や養護教諭が保護者とこまめに連絡を取り合う姿が日常的に見られ、保護者の学校への信頼感を生んでいると感じる。これからも家庭とのきめ細かな連携を大切にしていきたい。
- ・地域の方の学校への関心は依然として高い。コロナ感染症対策のため、実際の協力の機会は減少したが、それでも「にこにこサロン」のお年寄りによる学校の農作業へのお手伝い、地域の方による児童登校中の見守りなど自主的な協力が見られる。また、愛育会との連携活動も新たに加わった。今後も地域との結びつきを大切にしたい。
- ・学校からのお便りは充実しており、校長による学校だより、各担任による学年通信、各分掌からの保健・図書・給食だよりなど、その時々に関心した情報提供が家庭との共通理解を育てている。

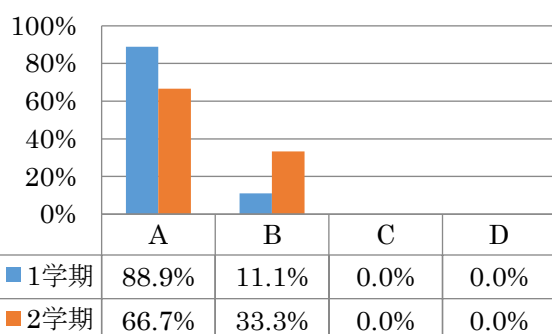
自己評価 前期・後期 比較集計グラフ

Aよくあてはまる
Bややあてはまる
Cあまりあてはまらない
Dまったくあてはまらない

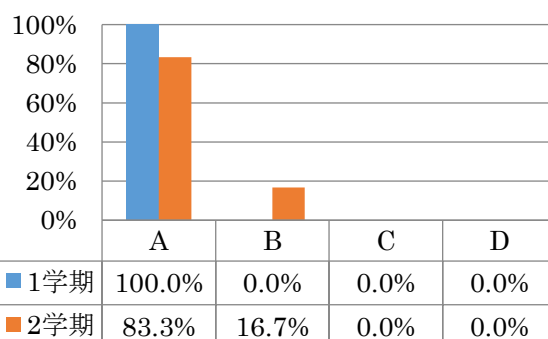
4 他の職員と、相互理解・信頼関係を深め、教育活動にあたっている。



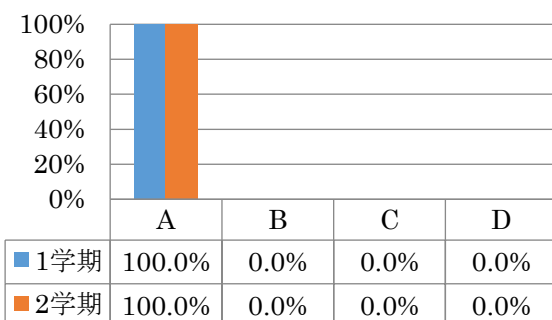
1 学校教育目標や指導重点を意識し、教育活動を進めている。



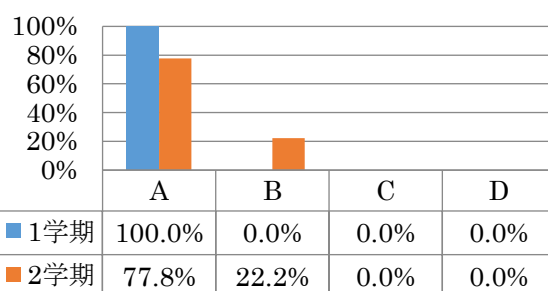
5 人事評価制度や各種研修を通し、常に自分を磨き、専門性を高めようとしている。



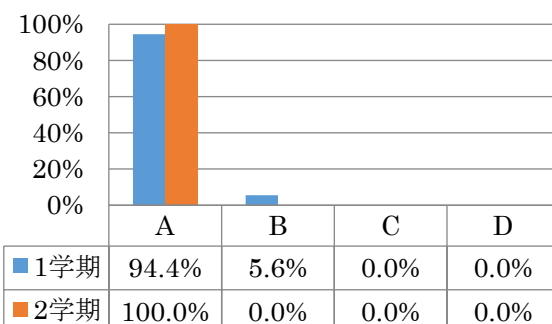
2 マネジメントサイクル（PDCA）で、常に改善を図ろうとしている。



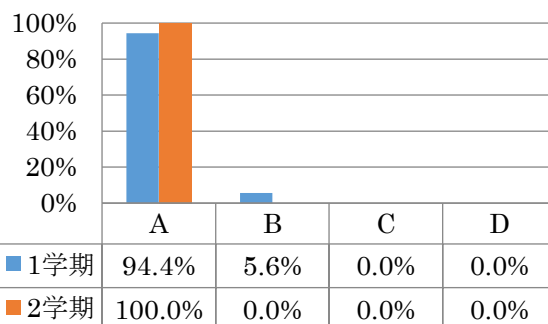
6 教育公務員として危機管理（防災・防犯・個人情報・綱紀保持）を意識し、教育活動等にあたっている。



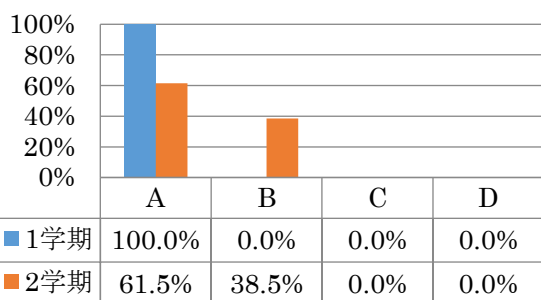
3 校務分掌に基づき、組織的に学校運営を進めることを心がけている。



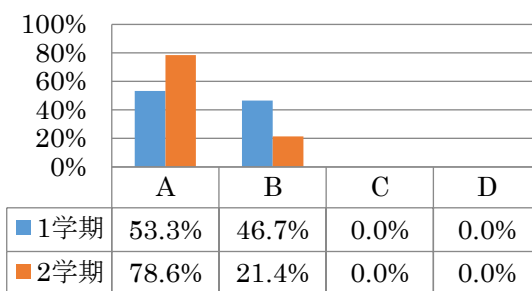
7 チーム源として、職員が共通理解のもと、指導に努めている。



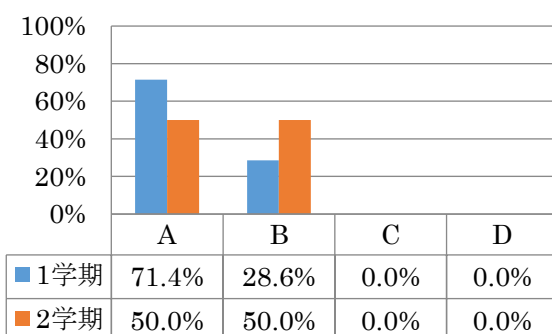
8適切な児童理解に基づき、ルールとリレーションのある学級・学校づくりに努めている。



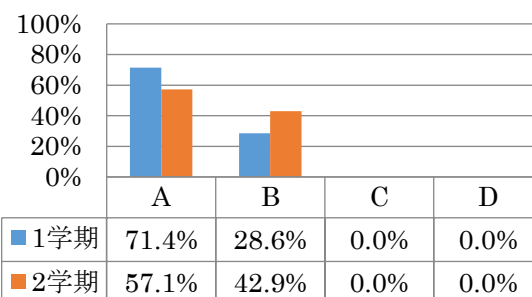
12児童の規範意識を育むための指導を行い、全校児童が相互に協力し合える風土づくりを心掛けている。



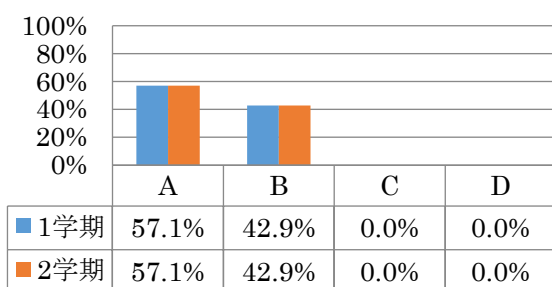
9基礎・基本の確実な定着に対して、きめの細かい指導をしている。



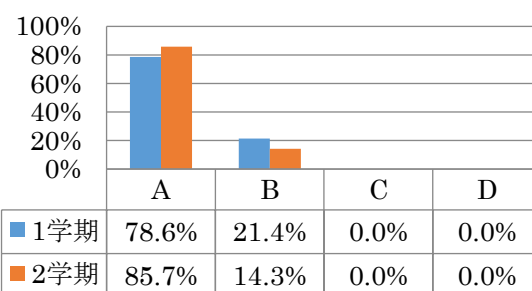
13生指・特別支援体制を通じての組織的体制から、児童特性に応じた指導方法の工夫や改善に努めている。



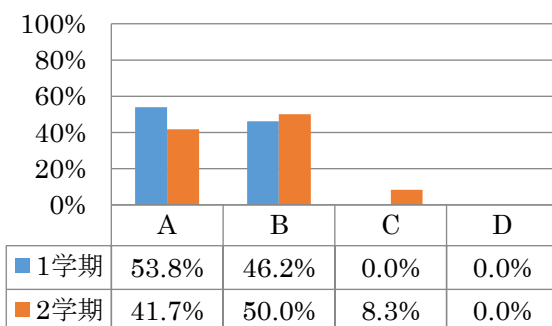
10「関わりあって共に学び、高め合う」授業づくりに努めている。（思考力・判断力・表現力、主体的学習態度、学習意欲、言語活動、主体的で対話的で深い学びの視点）



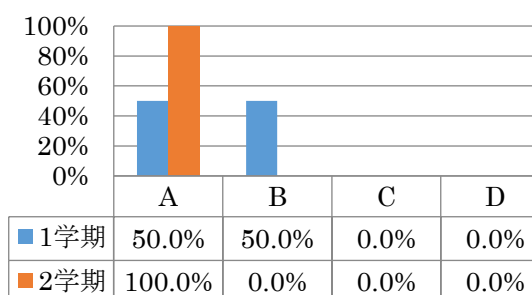
14いじめ・不登校・問題行動の未然防止に努めるとともに、万が一の場合は、見逃さず適切に対処している。



11家庭との連携を図り、児童の学習習慣が確立するよう配慮している。



15保護者・地域に対して誠実に関わり、保護者・地域及び関係機関との連携・協力体制の構築に努めている。



児童アンケート 考察

全体を通して

Ⅰ学期に続き、全体的に肯定的な評価が多かった。多くの児童は、項目Ⅰで「学校は楽しい」と答えている。ただ、ＣＤ評価の児童がⅠ学期より変わらずにいる現実を受け止め、今後も職員全員で全校児童を見守り、声をかけ、安心感のある学校生活へと支援していきたい。

学習・授業について

- ・学校の授業については、９４％の児童が「分かる」と答えている。ただ、ＢＣ評価が若干増える傾向が見られ、Ｃ評価の児童が６％いた。どの学年も学習内容はⅠ学期より難しくなっているため、次第に学習理解に困難さを抱える児童もいると思われる。本校では、特に算数の授業において学習支援体制を強化し、ＴＴでの支援を行ってきた。また放課後学習を通して個別支援を行っている。今後も粘り強く支援を続け、「分かる」楽しさを味わわせていきたい。
- ・項目３の「授業中に質問や意見を言う」で、ＣＤを付けた児童が２８％おり、他の項目に比べて評価の低い傾向がⅠ学期から続いている。コロナ感染症対策のためマスクをしており、またグループでの学習や自由な対話の時間が制限されたこともあり、児童が自由に発言できない雰囲気があるのかもしれない。今後も感染症対策を鑑みた中での取組となるが、授業や日常の活動において児童が話したくなる課題の設定や発言の機会を多く設けるなどを通して、児童が自信をもって発言できる雰囲気づくりを進めていきたい。
- ・項目５から、家庭での学習状況についてはⅠ学期に比べてＡ評価よりＢ評価が若干増えているが、全体としては良く取り組んでいると捉えることができる。２学期から始まったクロムブックの持ち帰りも含めて、家庭における学習環境づくりが大切であるので、今後も家庭と連携する中で本人を励まし、家庭学習の充実を目指したい。

生活面について

- ・項目６より、一学期に引き続き多くの児童がクラスの友達と仲良く遊ぶことができている。また、項目８から、困ったときに相談できる友達がいると答えている児童が増えており、子ども同士の結びつきは良好に深まっている。日常的には子ども同士のトラブルも見られるが、その都度、担任をはじめ職員が迅速で正確に関わり、友達関係を良好に育てていると感じる。
- ・項目７を見ると、ＣＤ評価の児童が４０％近くおり、他学年同士で遊ぶ機会が減っていることが分かる。本校は少規模校で児童数が少なく、多学年で組織された登校班で一緒に登校しているが、遊びでの交流が見られない。人と接することを制限せざるを得ないコロナ禍における影響も考えられるが、今後も感染症対策に気を配りながら、児童会活動や学校行事などを通して、児童の縦のつながりを深めていきたい。
- ・教師と子どもの関係については、項目９、１０、１１より、非常に信頼関係が強いことが分かる。日頃の職員の真摯な取り組みのおかげだと自負したい。今後も全職員で子ども達を見守り、情報交換をしながら、児童の心の安心と安全を図っていきたい。
- ・勤労奉仕的な活動については、項目１２から分かるように１００％近い児童が自分の取り組みを評価している。「掃除をしっかりとる」「自分の仕事に責任をもつ」といった良い伝統が根付いていることを感じる。

学校外での生活について

- ・あいさつについては、項目１３、１４共にＡＢ評価が多く、子ども達はよく言えていると捉えている。ただ、普段の様子を見ると、自分から言えていない児童が多い。より良い人間関係をつくる第一歩としてあいさつが大切であることを指導し、自覚をもたせていきたい。また家庭にも習慣化をお願いしたい。

家で生活について

- ・項目１６より、児童は学校のことについて保護者とよく話をしている。ただ、項目１７の「災害が起こったときのことを話しているか」については、ほぼ半々である。大規模地震・河川の水害などが叫ばれる現在、家庭でも日常的にこのような話をすることが求められるので、学校からも呼びかけていきたい。

携帯電話・スマートフォンの使用について

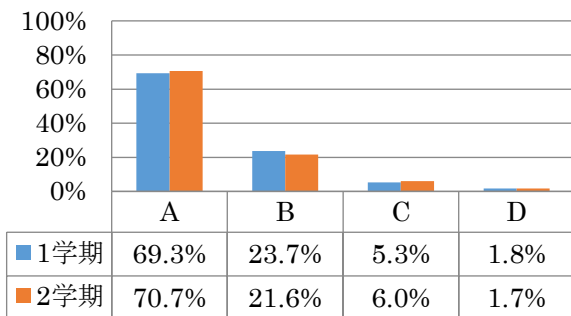
- ・携帯電話やスマートフォンを持っている児童が増えている。ただ、使うときの家庭内のルールについては、「ない」と答えている児童の割合があまり変わっていない。学校では５年生でスマホ・携帯教室を開き親子で学ぶ機会を持っているが、今後もこのような機会を継続していく必要がある。

児童アンケート 前期・後期 比較集計グラフ

- A よくあてはまる
- B ややあてはまる
- C あまりあてはまらない
- D まったくあてはまらない

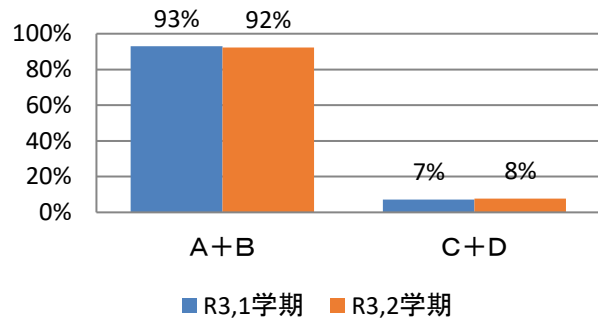
令和3年度1学期と2学期の比較

1 学校が 楽しいですか。

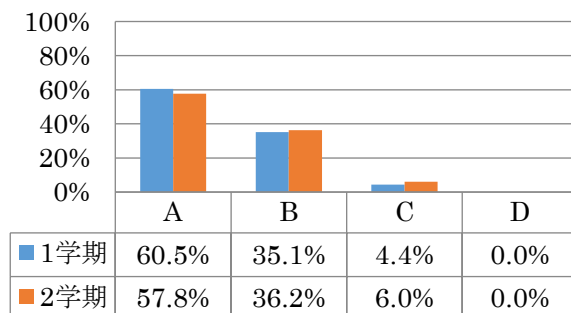


A B群 C D群の比較

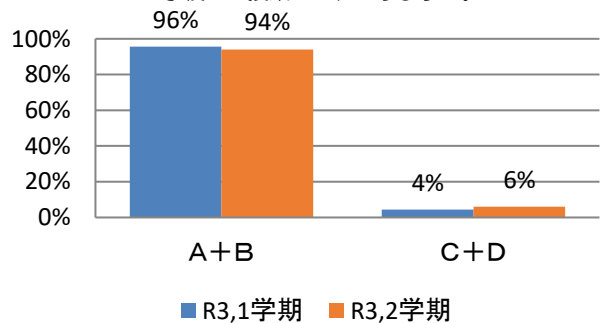
1 学校が 楽しいですか。



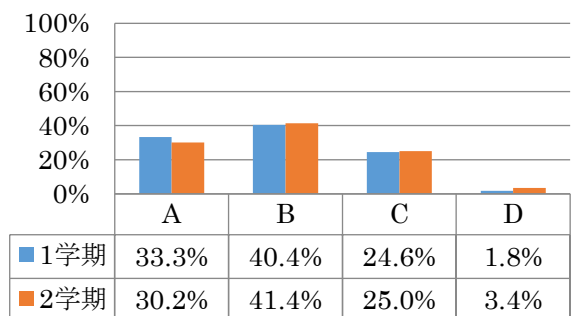
2 学校の 授業が わかりますか。



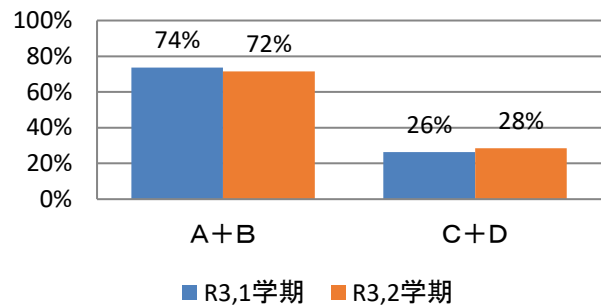
2 学校の 授業が わかりますか。



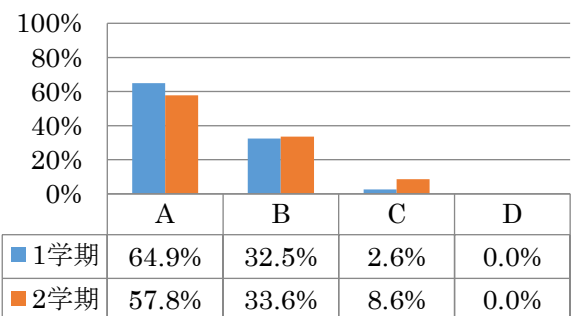
3 授業中に 質問や 意見を いいますか。



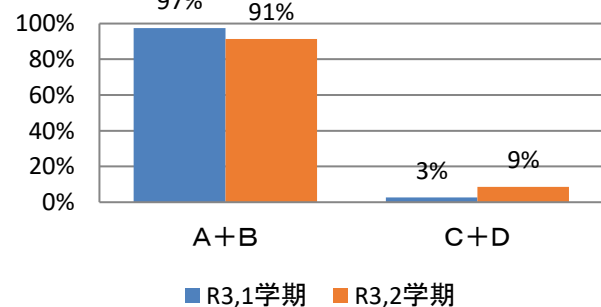
3 授業中に 質問や 意見を いいますか。



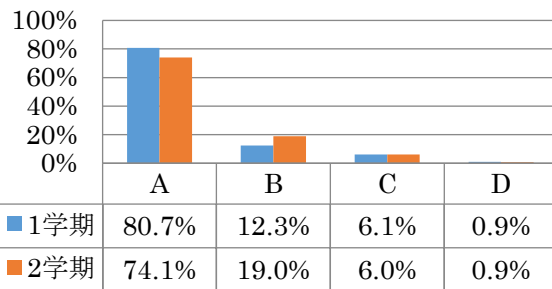
4 学校の 決まりや 約束が 守られていますか。



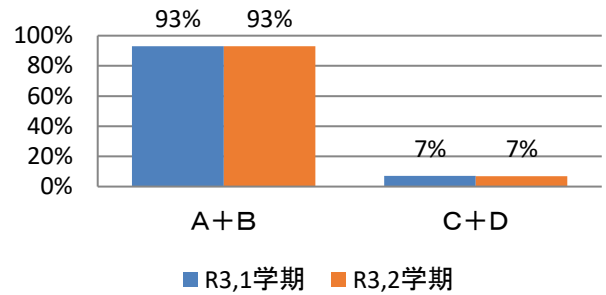
4 学校の 決まりや 約束が 守られていますか。



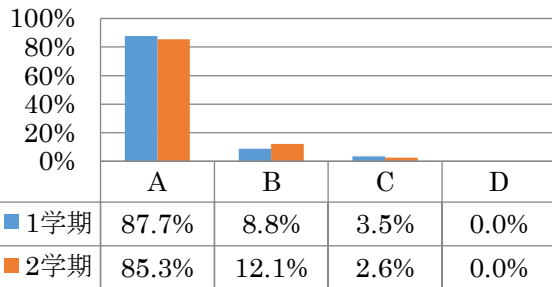
5 家で 家庭学習（自主学習 ・ 宿題）を
していますか。



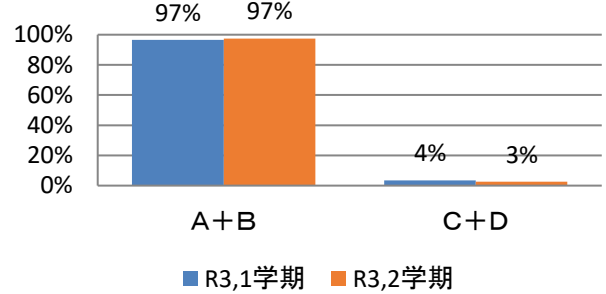
5 家で 家庭学習（自主学習 ・ 宿題）を
していますか。



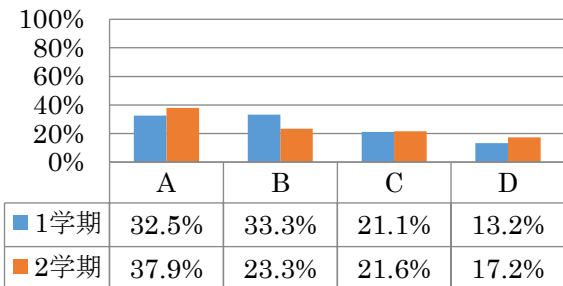
6 クラスに なかよく遊ぶ 友だちが います
か。



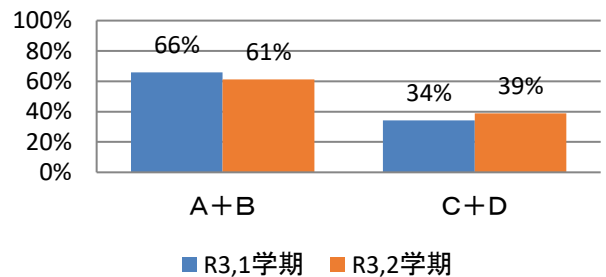
6 クラスに なかよく遊ぶ 友だちが います
か。



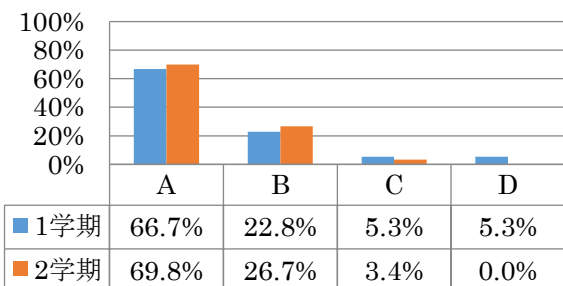
7 学校では ほかの学年のお友だちと 遊ぶこと
がありますか。



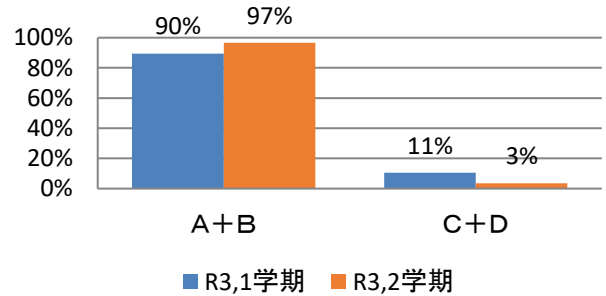
7 学校では ほかの学年のお友だちと 遊ぶこと
がありますか。



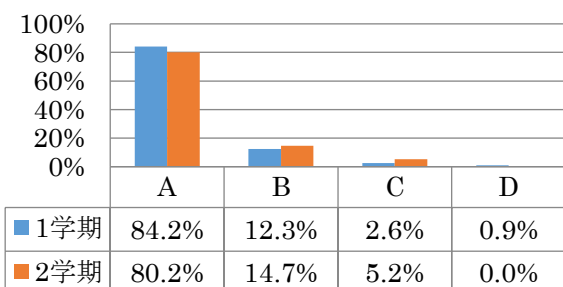
8 こまったときに 話のできる友だちが います
か。



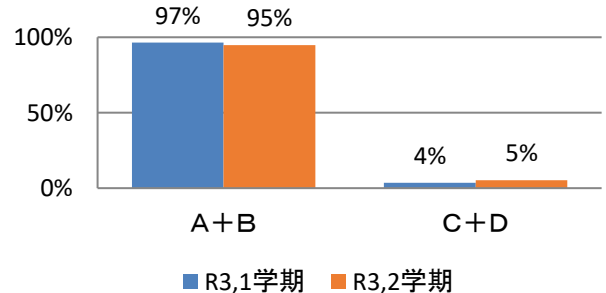
8 こまったときに 話のできる友だちが います
か。



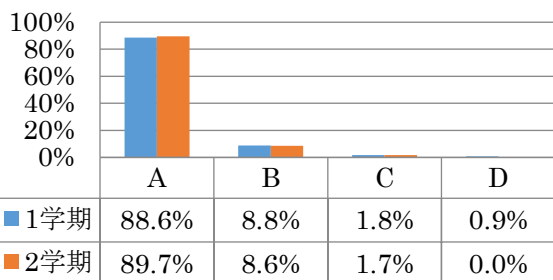
9 先生はこまったときに 話を聞いてくれたり、
きちんと対応してくれますか。



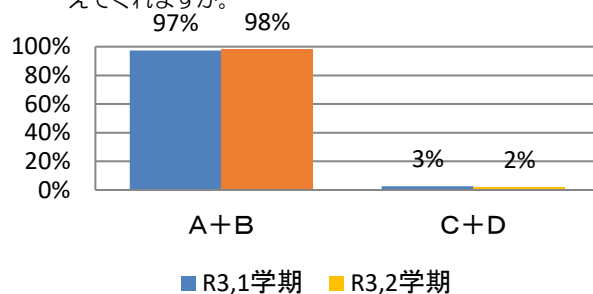
9 先生はこまったときに 話を聞いてくれたり、
きちんと対応してくれますか。



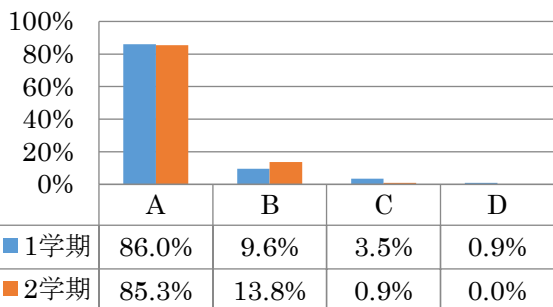
10 先生はやってよいこと・悪いことをしっかり教
えてくれますか。



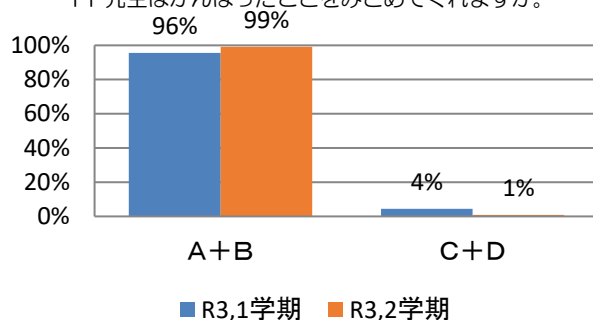
10 先生はやってよいこと・悪いことをしっかり教
えてくれますか。



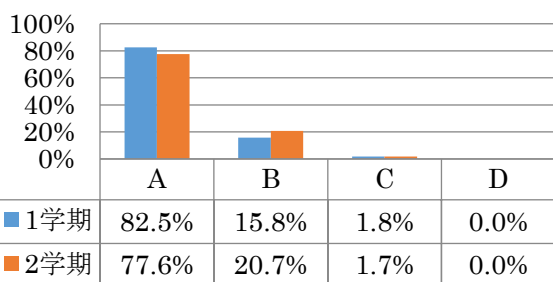
11 先生はがんばったことをみとめてくれますか。



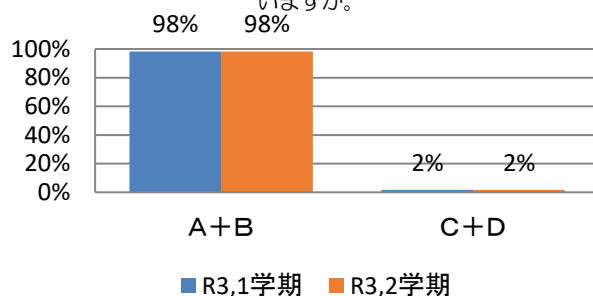
11 先生はがんばったことをみとめてくれますか。



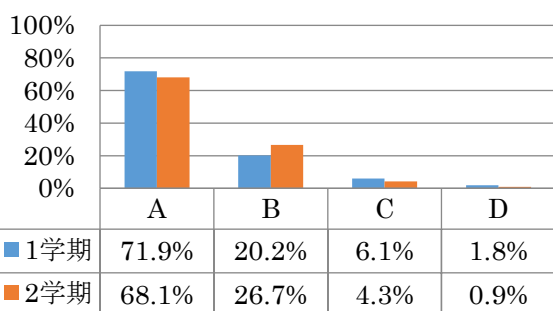
12 そうじ や 自分の仕事にしっかり取り組んで
いますか。



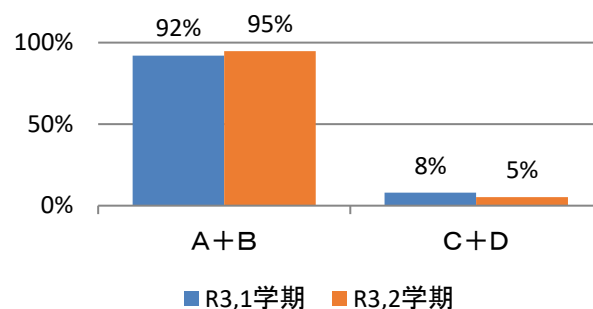
12 そうじ や 自分の仕事にしっかり取り組んで
いますか。



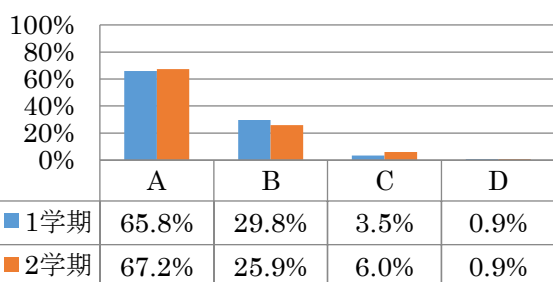
13 家の人と あいさつをしていますか。



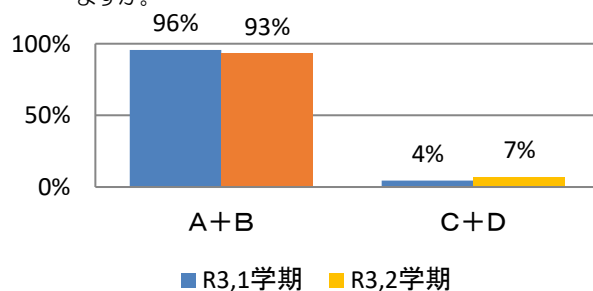
13 家の人と あいさつをしていますか。



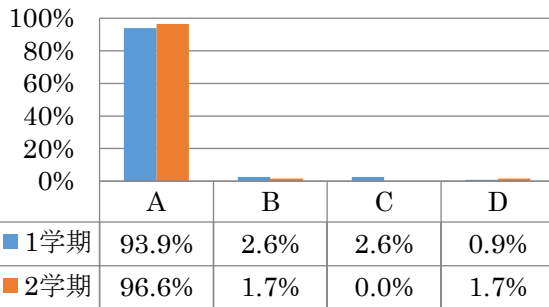
14 地域の人と 出会ったら あいさつを してい
ますか。



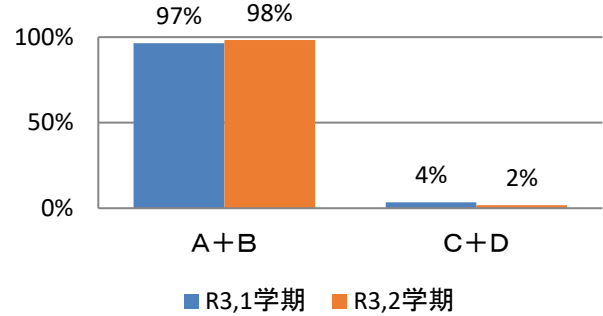
14 地域の人と 出会ったら あいさつを してい
ますか。



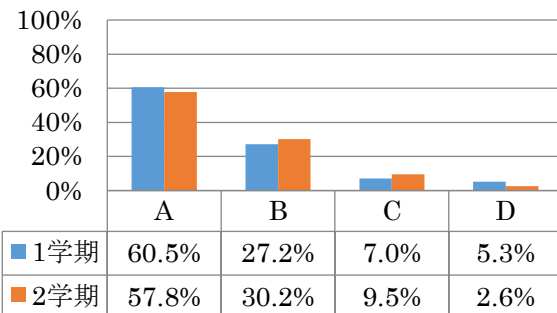
15 朝ごはんを 食べて 学校に きますか。



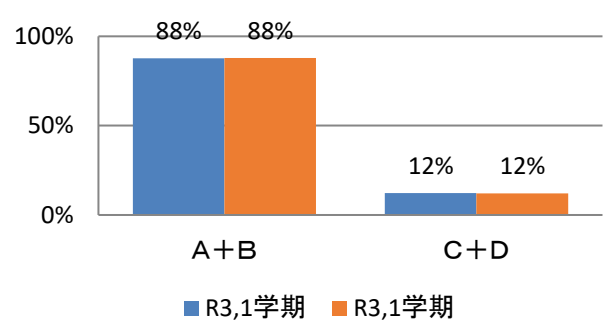
15 朝ごはんを 食べて 学校に きますか。



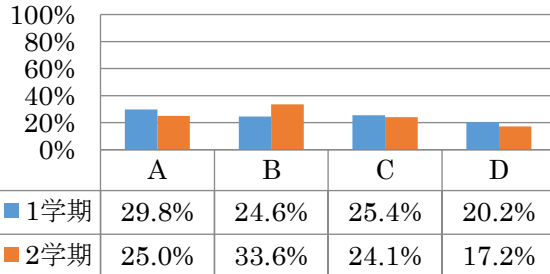
16 家の人と 学校でのことを 話していますか。



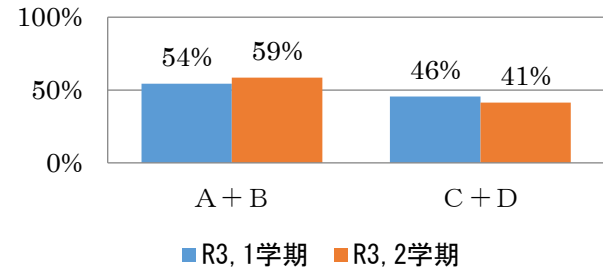
16 家の人と 学校でのことを 話していますか。



17 家の人と さいがい（地震・台風・火事など）
が起こったときのことを話していますか。

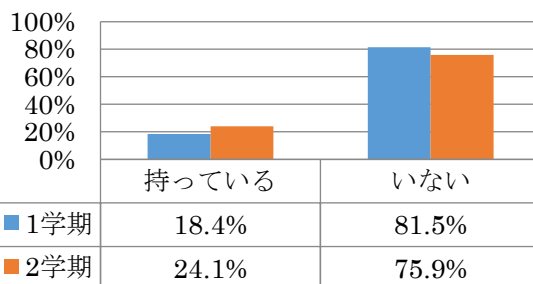


17 家の人と さいがい（地震・台風・火事など）
が起こったときのことを話していますか。

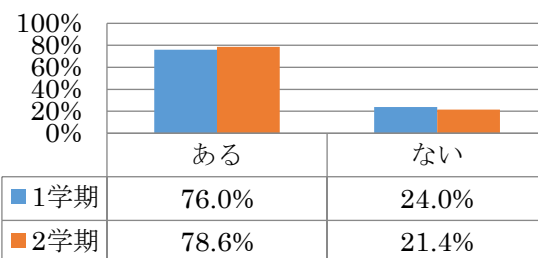


携帯電話・スマートフォンの使用について

19自分のケータイまたはスマホを持っていますか



ケータイまたはスマホを使う時の家のルールはあ
りますか。



保護者アンケート 考察

全体を通して

すべての項目で肯定的な評価が多かった。保護者の多くは、学校に信頼をよせていることが分かる。ただ、少数のＣＤ評価の意見にも耳を傾けていきたい。

学校教育目標、経営方針・学校運営（１～３，２０）

◎すべての項目において、肯定的な意見が占めた。

- ・「特色ある教育活動」については、コロナ禍でそれまで伝統として続いてきた学校活動の多くを変更や中止とせざるを得ない面もあったが、本校にできることを粛々と行ってきた。朝読書やなのはなのお話会、放課後学習などが概ね評価されている。来年度以降も、子どもにつけさせたい力を念頭に諸活動の内容と取り組み方法を工夫しつつ継続していくことが必要だと感じる。
- ・コロナ感染症対策で保護者が学校へ来校する機会は減ったが、項目３の結果から、お便りを通して学校の様子を知る保護者は多いことが分かる。校長による学校便り、各担任による学年学級通信、各分掌からの保健・図書・給食便りなど、それぞれに工夫した内容が十分家庭に伝わっている。

学級経営、学習指導（４～７）

○いずれも肯定的な評価が多い。

- ・項目４より、教師の授業への取り組みを評価している。子どもの言葉を通して、授業の様子がより良く伝わっていると感じる。
- ・項目５・６については肯定的な評価が多かった。担任の関わりはもちろん、全職員で全校を支援していこうとする姿勢が、保護者にも評価されていると感じる。課題を抱えた児童については、今後も個別での支援を大切にしていきたい。

児童のこと（８～１３）

○いずれも肯定的な評価が多い。

- ・項目８，９，１０共に肯定的な評価であり、ほとんどの保護者が学校での子ども達の様子に安心感をもって送り出してくれていることが分かる。不安を抱えた保護者には、その都度真摯に対応していきたい。
- ・項目１１，１２，１３については、その子の個性もあるだろうし、家庭での保護者の関り方の影響も大きい。家庭学習やあいさつについては、家庭でルールを決めたり、しつけとして行ったり、保護者から働きかけたりといった部分が大きいので、各家庭に問いかけていく必要がある。

保護者自身のこと（１４～２０）

○肯定的な意見が多いが、全体的にＢ評価が多く、ＣＤ評価も見られる。保護者自身の子どもへの関りには、家庭における差が大きいことを感じる。

- ・項目１６より、高学年になるにしたがって関わりが薄くなる傾向がある。保護者自身の忙しさなどもあると思うが、学力向上のために家庭学習が大切なことをこれまでも家庭学習週間の取組などを通じて知らせている。今後も続けていく必要がある。
- ・項目１８については今日的課題である。アンケート結果では比較的ＡＢ評価が多く、保護者と児童がきちんとルールを決めて取り組んでいることが分かる。ただ、ゲームについては、児童から直接話を聞くと長時間遊んでいる児童も少なくない。本年度の学校保健委員会で成長へのゲームの弊害を取り上げ、出席した保護者へその危険性を強く印象付けた。今後もこのような機会が必要である。
- ・項目２０については、ＣＤ評価の保護者が若干多かったが、記述内容を見ると、「特に相談することがない。または相談するほどではない。」という意見である。本校には保護者の悩みをいつでも受け入れるという姿勢があるので、相談があったときには誠実に対応していきたい。

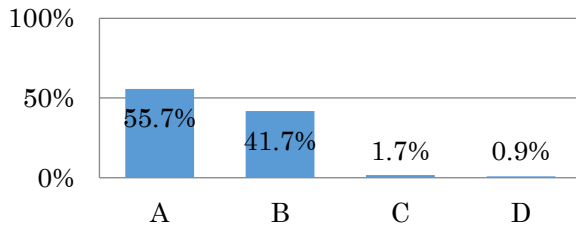
保護者アンケート集計グラフ

Aよくあてはまる
Bややあてはまる
Cあまりあてはまらない
Dまったくあてはまらない

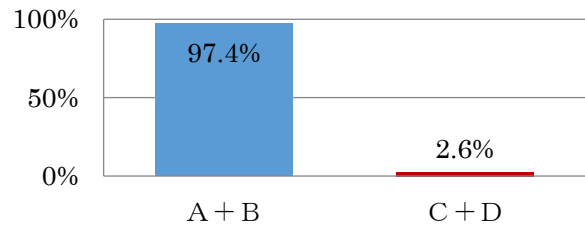
令和3年度の集計

A B群 C D群の比較

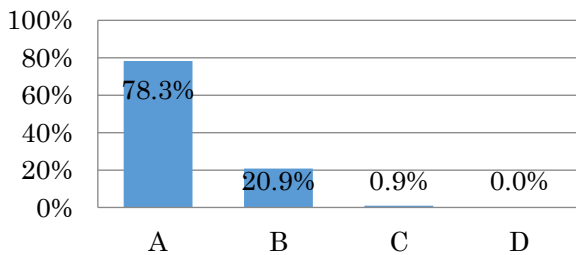
1本校では特色ある教育活動を行っている。《朝学習・交流教育・学校開放日・ボランティアの活用等》



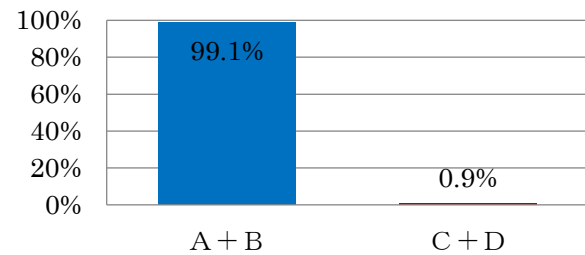
1本校では特色ある教育活動を行っている。《朝学習・交流教育・学校開放日・ボランティアの活用等》



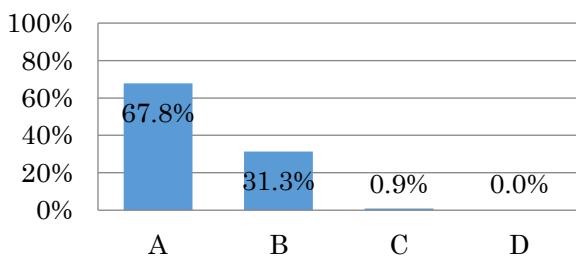
2学校は、学校開放日や授業参観等で、子どもの様子を見る機会を設けている。



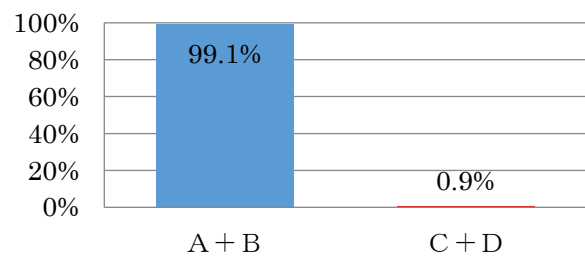
2学校は、学校開放日や授業参観等で、子どもの様子を見る機会を設けている。



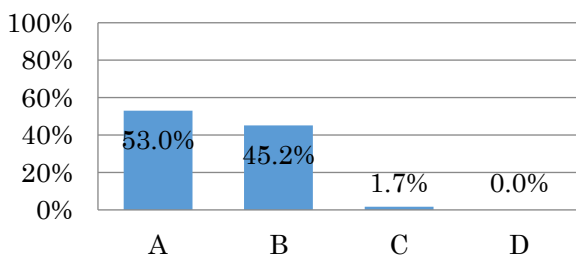
3「学校だより・学年だより・図書だより・保健だより等」で学校の様子がよくわかる。



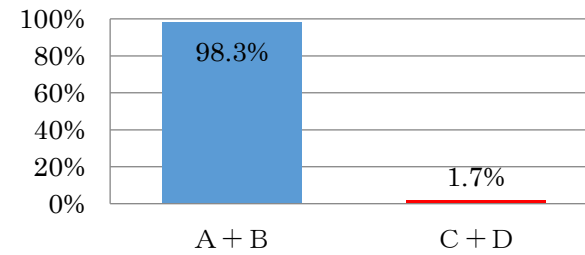
3「学校だより・学年だより・図書だより・保健だより等」で学校の様子がよくわかる。



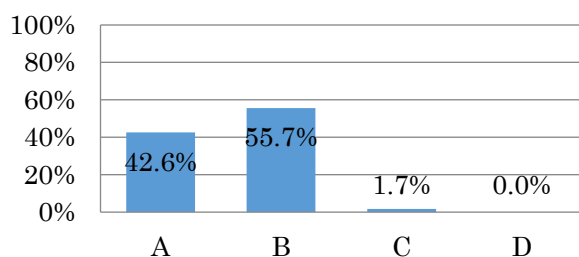
4先生たちは、わかる授業、楽しい授業に積極的に取り組んでくれている。



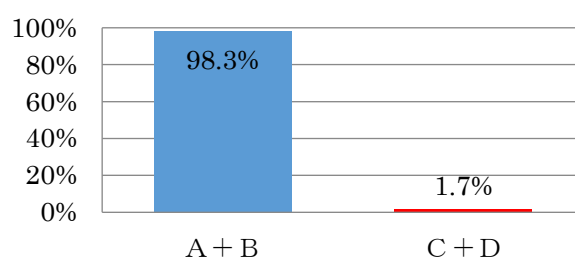
4先生たちは、わかる授業、楽しい授業に積極的に取り組んでくれている。



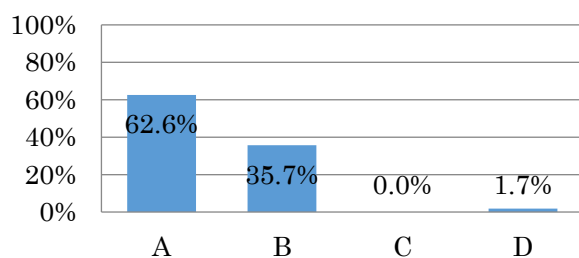
5先生たちは、子どもの話をよく聞き、理解してくれている。



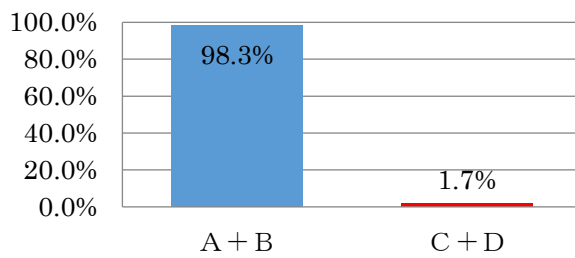
5先生たちは、子どもの話をよく聞き、理解してくれている。



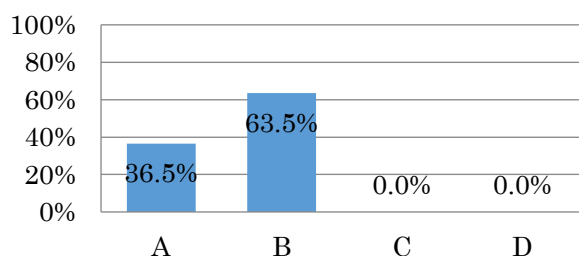
6先生たちは保護者からの相談や要望によく対応してくれている。



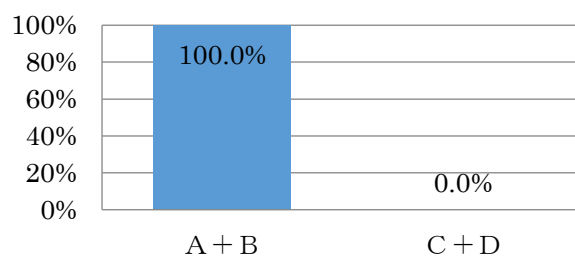
6先生たちは保護者からの相談や要望によく対応してくれている。



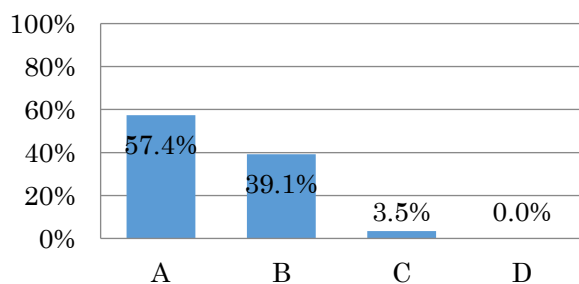
7本校は、教育活動に適した施設・設備が整っている。



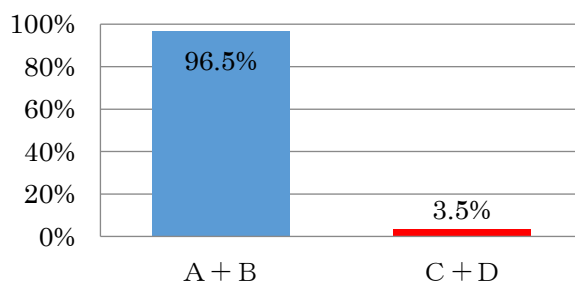
7本校は、教育活動に適した施設・設備が整っている。



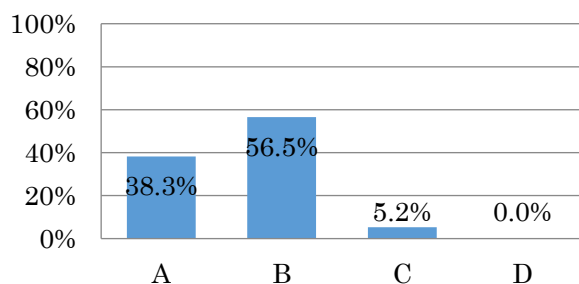
8子どもは、学校に行くのを楽しみにしている。



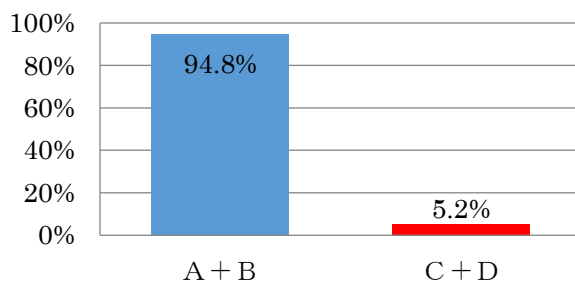
8子どもは、学校に行くのを楽しみにしている。



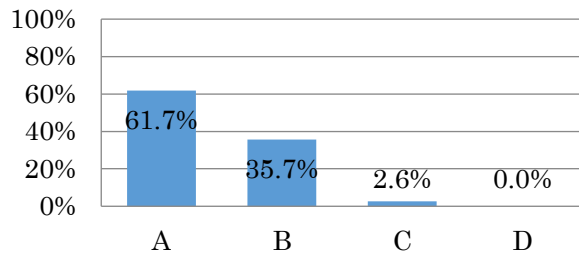
9子どもは、学習が分かっているように感じる。



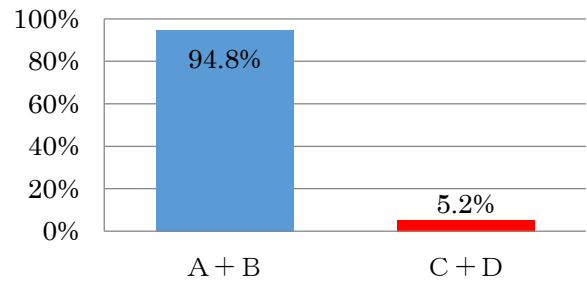
9子どもは、学習が分かっているように感じる。



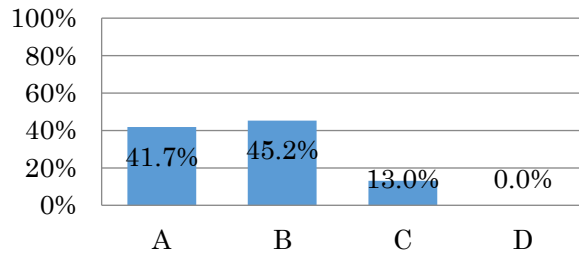
10子どもは、学校で友だちと楽しく過ごしていると感じる。



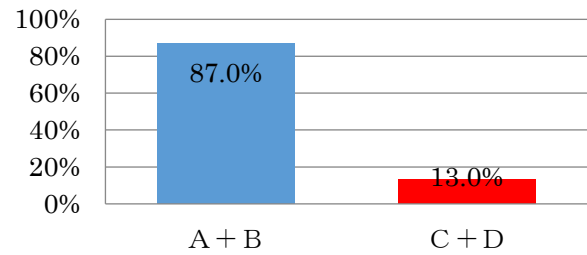
9子どもは、学習が分かっているように感じる。



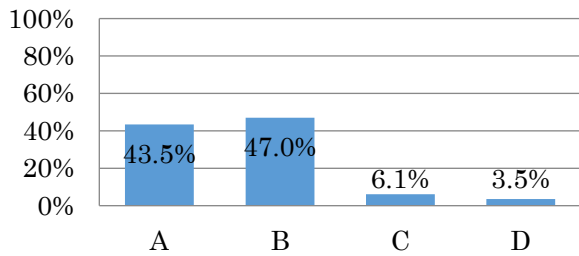
11子どもは、学校の様子をよく話してくれている。



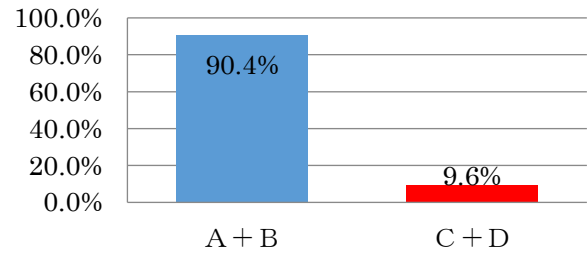
11子どもは、学校の様子をよく話してくれている。



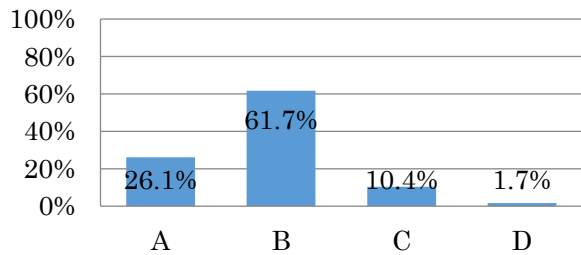
12子どもは、家庭学習（自主学習、宿題等）によく取り組んでいる。



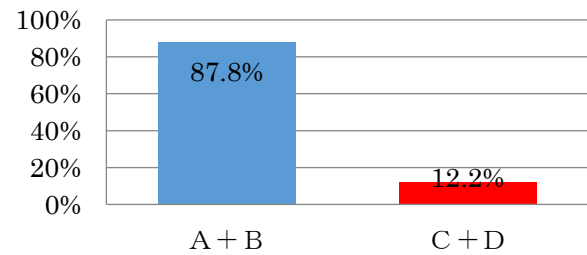
12子どもは、家庭学習（自主学習、宿題等）によく取り組んでいる。



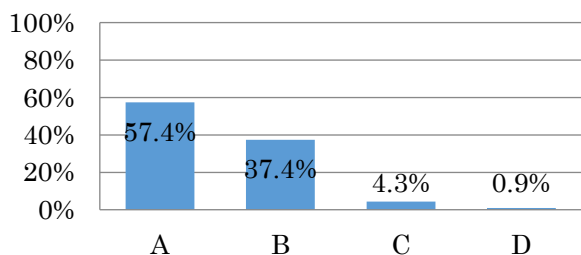
13子どもは、家でも地域でもよくあいさつをしている。



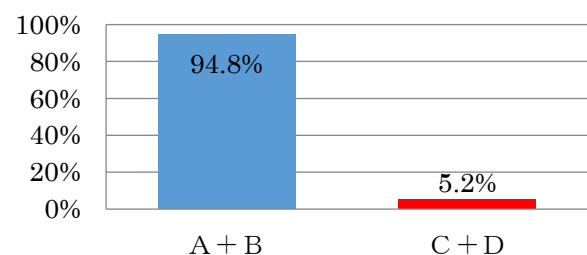
13子どもは、家でも地域でもよくあいさつをしている。



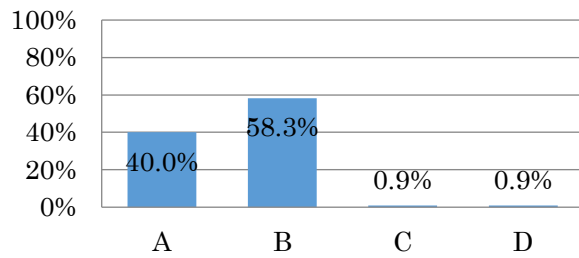
14学校開放日や授業参観、学校行事に積極的に参加している



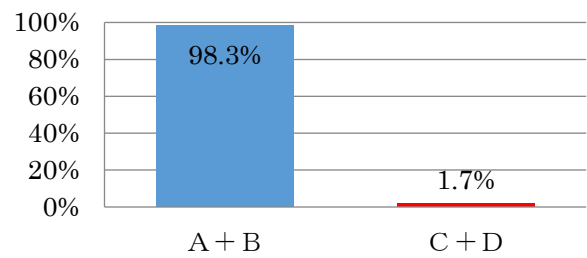
14学校開放日や授業参観、学校行事に積極的に参加している



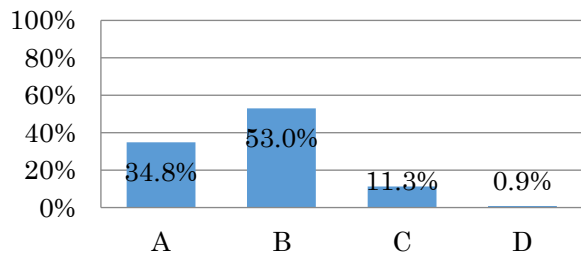
15学校だより、学年だより、保健だより、図書だより等をよく読んでいる。



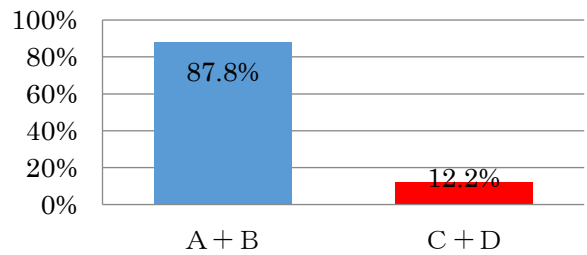
15学校だより、学年だより、保健だより、図書だより等をよく読んでいる。



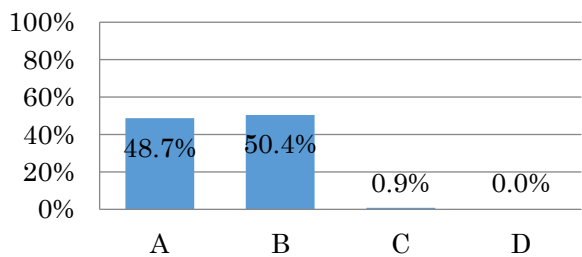
16家庭学習（自主学習・宿題）の取り組みに、関わっている。



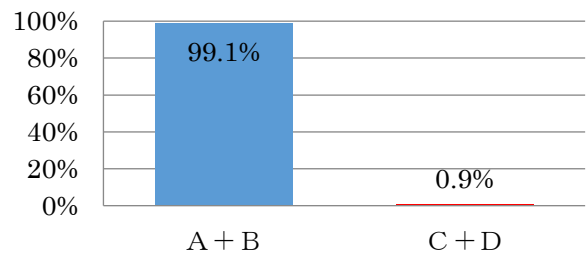
16家庭学習（自主学習・宿題）の取り組みに、関わっている。



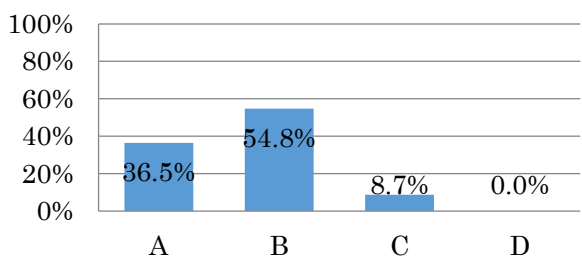
17基本的生活習慣（早寝、早起き・朝ごはん等）やしつけに注意を払って取り組んでいる。



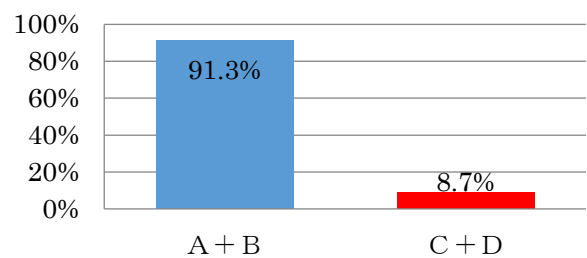
17基本的生活習慣（早寝、早起き・朝ごはん等）やしつけに注意を払って取り組んでいる。



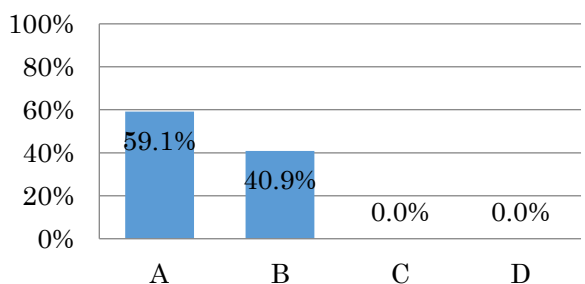
18ゲームをする時間、テレビを見る時間、外出時などにルールを決めて取り組んでいる。



18ゲームをする時間、テレビを見る時間、外出時などにルールを決めて取り組んでいる。



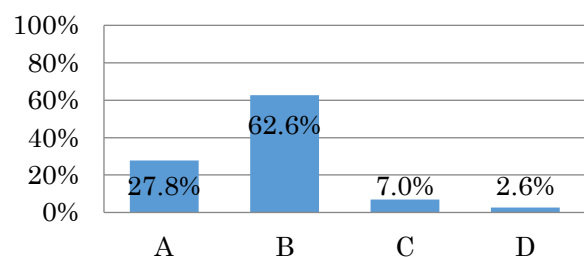
19子どもに、学校の様子などよく聞いている。



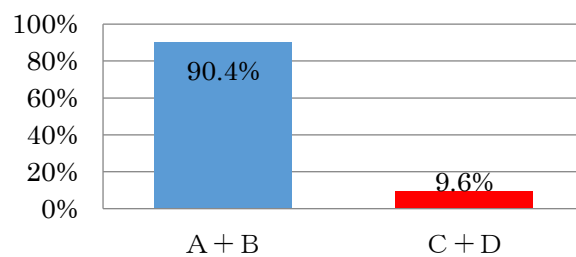
19子どもに、学校の様子などよく聞いている。



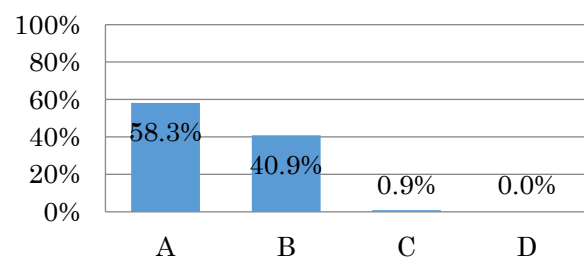
20子どもの様子の変化に注意を払い、すぐに先生に相談している。



20子どもの様子の変化に注意を払い、すぐに先生に相談している。



21わかば支援学校交流や保育所交流を通して思いやりの心を育てていく方針を理解している。



21わかば支援学校交流や保育所交流を通して思いやりの心を育てていく方針を理解している。

